

たけのこだより

朝晩の冷え込みを感じるようになり、寒さも本格的になってきました。早いもので、2025年も残すところ、あと1ヶ月を切りました。2学期は運動会や音楽会等、大きな行事がたくさんあり、それぞれの行事の中で、子どもたち一人一人が頑張っていました。

もうすぐ冬休みです。冬休みも体調や規則正しい生活にご留意いただき、3学期にまた元気に会えることを願っています。

《3学期の指導予定日》

月曜日(8回)(*回数を合わせるため)

1月 *9日(金)、19日、26日、
2月 2日、9日、16日
3月 2日、9日(今年度最終)

火曜日(8回)

1月 13日、20日、27日
2月 3日、10日、17日、24日
3月 3日(今年度最終)



《保護者面談について》

2月末～3月上旬に保護者面談を行います。実施日は、原則お子さんの指導曜日です。2月中に保護者の皆様へお便りを配布させていただきますので、ご都合のよい日時をお知らせください。

ご家庭でのお子様の様子をお聞かせいただきながら、今年度のたけのご教室での指導の成果や課題、次年度に向けてのお話をさせていただけたらと思っています。よろしく願いいたします。

たけのご教室の小集団活動紹介「会話名人になろう」

「会話名人になろう」では、自分の経験を伝え合いました。学習のめあては「相手のことを考えて、話したり聞いたりしよう」です。授業の始めに、めあてとは逆の「相手のことを考えていない」行動を、紙芝居で提示し、印象付けました。(紙芝居は裏面にあります。ご覧ください。)紙芝居を見たことで、今回の授業で大切にしたい「相手のことを考えて」(例:「時間を意識して話す」「話すことを決める」「詳しく/分かりやすく話す」「相づちを打ちながら聞く」「内容に合う質問をする」)の行動を子どもたちが考えることができました。

聞き方の例

質問

いつ
どこで
だれと
何をした
気持ち
どのような
名前(人、もの、場所)
〇〇についてくわしく

あいづち

「うんうん」
「なるほど」
「わかる」
「そうなんだ」
「そっかあ」
「おお～」

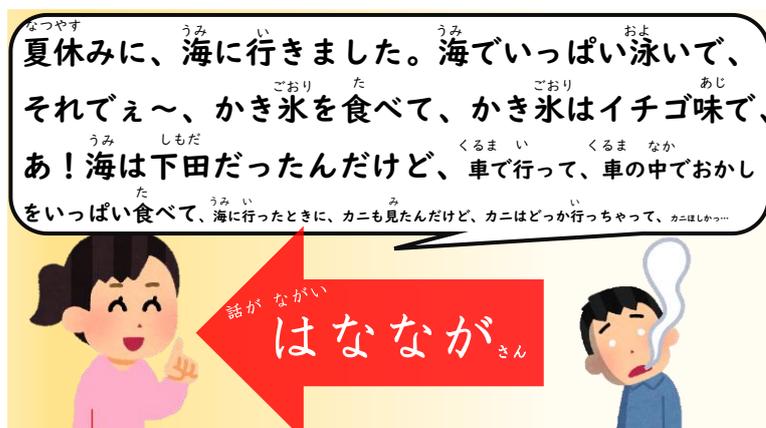
態度

うなずく
はくしゅする
表情を変える



子どもたちと共有できる言葉を作る

【『会話名人になろう』で使用した紙芝居】



紙芝居では、「話が長い＝はなながさん」「話が短い＝はなみじさん」「何も言わない＝しい～んさん」「話を取っちゃう＝よこどりさん」のように、「子どもたちと共有できる言葉」を使って学習を行いました。共有できる言葉を作るときは、子どもたちが親しみやすそうな短い言葉で、子どもたちが覚えやすくすることが大切です。

共有できる言葉を作ると、子どもたちの学びが様々な場面で広がっていきました。実際、「会話名人になろう」以外の学習場面でも「はなながさんに気をつけて話さないと!」「しい～んじゃなくて、『うん』とか言おう。」などと子どもたちが発言する場面が見られました。子どもたちに気を付けてほしい場面があったときに、このような「共有できる言葉」を使って伝えることで、子どもたちも「怒られた」「注意された」と否定的に感じるのを防ぎ、心地よく行動を修正することもできます。

お家でも例えば、宿題をやってほしいときに「早く宿題やりなさい」ではなく「はやしゆく（早く宿題の略）」、忘れ物を確認してほしいときには「(忘れ物)チェック・チェック」など子どもたちと楽しみながら使える言葉を一緒に考え、使っていくのもいいかもしれません。もし、ご家庭で共有できる言葉を使ってみた際は、教えてください。